

オホーツクの風

平成30年8月22日(水) 0022号

発行所
北見赤十字病院の
明日を考え支援する会
事務局
北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

第65回北見ぼんちまつり 舞踊パレード

ISO15189 認定取得

2018年4月24日、北見赤十字病院の臨床検査科は「ISO15189」を取得した。北海道では7施設目、道東北では初の認定です。

ISOは臨床検査が国際的ルールに基づいて行われ、信頼性の高い検査結果を提供できる技術と能力が国際的に認められたことを意味し、その内容は世界の学会の論文などで通用することになります。

臨床検査室
認定証

認定番号: JAB.01610

機関名称: 日本赤十字社
北見赤十字病院 医療技術部 臨床検査科

所在地: 北海道北見市北六条東2丁目

発給機関は本協会の下記の基準に適合していることが認められましたので、ここに臨床検査室として認定します。

適用標準: ISO 15189:2012 (検体回収版)
認定範囲: 検査室による
発給場所: 検査室による
発給期限: 2022年4月30日

この認定は発給機関認定規則において ISO 15189:2012 の技術的効力要求事項およびマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものではありません。このマネジメントシステム要求事項は ISO 9001:2008 の原則を準拠し、その関連する要求事項に当たります。

初回認定日 2018年4月24日
公益財団法人 日本適合性認定協会
理事長 飯塚 悦功
副理事長 渡邊 清明
認定番号: JAB.01610-20180424

平成30年7月13日、北見の夏を楽しむ第65回ぼんちまつりの目玉イベントである舞踊パレードが中心商店街で行われた。

北見赤十字病院の医局・看護部・医療技術科・事務部や道立北見病院から110名ほどが踊りに参加した。

揃いの浴衣に北見赤十字病院と染め抜いた法被を着た踊り手がサンバ北見ばやし等の軽快なリズムに合わせてメインストリートを練り歩いた。

夏の夜のひととき、群舞は非日常の楽しさを体感したに違いない。



平成の舞踊パレードは今宵限り、踊り手は楽しく情熱的に。



踊りの波はのりにつけて頂点に達す。



「おつかれさま」

第5回

北見での思い出づくりの集い

夏の太陽が照りつける木陰で

平成30年7月29日(日)、真夏の太陽がまぶしい野付牛公園で「第5回北見での思い出づくりの集い」を開催した。

臨床研修医室の医師(今年研修に入った11名・昨年も参加した2年度の5名)が16名、事務部門のスタッフが8名そして道立北見病院から総務係長が出席して病院サイド総勢25名を招いて開かれた。

会からは13名の会員が皆さんをお迎えした。

定刻の午前11時から、イベントセルモニーが始まった。全員が輪になって集い、名前のみの簡単な自己紹介に引き続き、逢坂代表が歓迎の挨拶をし、昨年

も参加した笹井医師が「集いに参加して」を述べた。

炭焼きコンロの火は赤々と燃えている。それぞれがオホーツクビールや飲み物を手にとり、田辺事務副部長の音頭で乾杯し、交歓焼き肉の始まりです。

フルーツを2品

▽味覚園焼き肉コース。牛さがり、牛カルビ、豚ホルモン、豚カルビ、豚トロ、鶏肉、ソーセージ。焼き野菜(キャベツ、玉ねぎ、にんじん、ピーマン)。味付けは塩コショウと生たれ。

▽漬物はキュウリの板ズリ浅漬けステック仕上げと白菜のキムチ。
▽ご飯はおにぎりごま塩仕上げ。

▽フルーツはサクランボ(佐藤錦)とフィリピ産パイナップル。

の飾り切り。
▽デザートはアイスクリーム(MOWト)。

・モウ) バニラ・宇治抹茶・チョコレト。

▽飲み物はオホーツクビール(エール)・サーバーからのサイビス、キリンゼロイチ(ノンアルコールビール)、お茶、飲料水。

キュウリの板ズリ浅漬けステック仕上げは阿久津事務局長がまたパイナップルの飾り切りは逢坂代表がそれぞれ調理をして保冷剤で冷やし、持ち込んだ。

◆ ◆ ◆
炭火の調子も良く焼き肉を楽しんでいます。ここで抽選会です。

景品は会の森賞副代表と下元理事が提供してくれた。進行役は森賞副代表ファミリーの仁衣奈さん、礼紳さん、諒和

医師のひとこと

さんと長南理事。全員に当たる抽選会のあと、参加の医師だけが対象の特別賞3本の抽選です。金賞1本、トリトンの食事券5千円。銀賞2本、トリトンの食事券3千円。当たった参加の医師は大喜びです。



抽選会 景品はトリトンの食事券

参加医師のそれぞれから出身地などのコメントを戴きながら交流を楽しむ時間です。進行役は表監査役です。

▽北見赤十字病院を見学して、研修の場に決めた。出身は九州・福岡です。来春には研修が修了しますがまたこの集い(3面に続く)



セレモニー
自己紹介と挨拶



に來たいと(2年度医)。

▽昨年も参加した、北見に戻って來るのでまた呼んで欲しい。出身は美幌町とのこと(2年度医)。

▽北見の小・中高を卒業。來年、出身の広島大に戻ります。いずれ北見に戻ってきますと(2年度医)。

▽病院外の人と触れ合う機会が少ないので、この企画を続けて欲しい。いつの日か北見日赤に帰ってきたいと(2年度医)。

▽広島出身。置戸日赤で研修中。將來、地域医療に関わられたらと(2年度医)。

▽剣道3段。大声が特技。よろしく願いますと(1年度医)。

▽出身は札幌で、誕生は北見日赤です。道内で医師になりたいと(1年度医)。

▽出身は香川県。

参加医のそれぞれから出身地などひとこと



研修は全国の病院を見学して北見日赤に決めた。將來は小児科を志望と(1年度医)

▽出身は旭川。減量目標をめざしたが今は目標オーバーと(1年度医)。

▽出身は大分県。いろいろな病院をまわったが北見日赤を選んで良かったと(1年度医)。

▽研修医の先生方生き生きしていて、色んなことが学べて良かったと(1年度医)。

▽出身は函館。ふらっときたがよい病院だと思えますと(1年度医)

院だと思えますと(1年度医)

▽埼玉本庄の生まれです。來年もいますのでよろしく願いますと(1年度医)。

▽韓国人ですが、韓国語はできません。北大とたすき掛だけで1年しかないないと(1年度医)。

▽1ヶ月だけの研修です。8月23日

交歓焼き肉

ジョイフル ショット

右上からA-①、A-②、B-①
左上から B-②、C-①、C-②
D-①



に帰りますと(医療センター所属)
▽出身は遠軽町。旭川から1ヶ月間の救急研修に来ていまして(救急研修医)。

協賛各社に感謝

焼き肉コース料理は味覚園(栄町店)

・(株)坂口精肉店
(代表取締役社長・坂口正義)。

オホーツクビール

はオホーツクビアフアクトリリー・オホーツクビール(株)(代表取締役社長・五十嵐力)。

それぞれが特別価格で提供して頂き。両社には感謝しています。

◆ ◆ ◆
楽しいひとときもお開きの時間が来ま

した。

谷川副代表が若い医師へ激励のことばを贈り、全員が拍手でお開きとなった。総務課の皆さんも

して参加の方々が後片付けやゴミ処理などのお手伝いを頂き、ゴミは病院のワゴン車を持ち帰り。午後3時に事故もなく無事に終えた。

軽遠で講演

地域医療を支えるがんぼうの風を興そう

明日の豊かな地域医療に向かって

地域医療を支えるがんぼうの風を興そう

～明日の豊かな地域医療に向かって～



主催 遠軽商工会議所
共催 遠軽地区地域医療対策連携会議 (構成: 遠軽町・湧別町・佐呂間町)

平成30年3月、遠軽町役場・民生部長から電話があり、地域医療についての講演要請があった。その後、講演会の主催者である遠軽商工会議所の専務理事と指導課長から詳しい説明を受けた。当会の5月例会で正式に講演の講師を請けることを決定。日程は平成30年パワーポイントトップ画面



120名程の参加者が集う会場で代表・副代表・事務局長が発表。

6月18日(月)午後4時から、場所はホテルサンシャイン、演題は『地域医療を支えるがんぼうの風を興そう』明日の保健福祉に向かって』。

8日、逢坂代表・谷川副代表・阿久津事務局長は午前11時37分北見駅を出発し遠軽に向かった。講演会は定刻に主催者側の挨拶があり、すぐに講演が始まった。

講演は谷川副代表がトップバッターで「その頃の北見日赤と私たちの動き」を発表した。

『平成20年1月、北見赤十字病院では「至内科医7名退職」のシヨッキングなことがあった。

その頃、私は病院に入院していて、内科の外来待合は照明が消えて、患者の姿もなく寂しいたたずまいであった。

その時、現在の会を立ち上げようと決心し、現在に至っている』と話を展開した。

続いて、阿久津事務局長が「風雪に耐えた幾とせ・その足跡をたどる」をパワーポイントの画像を映し出し進めた。

最後に逢坂代表が「明日の豊かな地域医療に向かって」と

北海道新聞オホーツク遠軽紋別
H30・06・22

地域完結型の医療連携重要

市民団体代表が講演

【遠軽】地域医療充実への機運を高めようと、遠軽商工会議所は18日、市民団体「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」の逢坂信治代表らの講演会を町内のホテルで開き、約120人が参加した。

演題は「地域医療を支えるがんぼうの風を興そう」明日の豊かな地域医療に向かって』。逢坂代表は、病院や診療所が特長を活かしながら、一つの地域の中で役割分担する地域完結型医療連携の重要性を強調。

「リハビリや救急など、医療のニーズは多様化している。医療従事者の負担を分散させることが退職者を減らし、医師の定着につながる」と述べた。

講演会では谷川勝男副代表、阿久津俊子事務局長も話した。

(高橋智也)



「地域住民が医療を盛り上げ、病院と信頼関係を築いてほしい」と訴える逢坂信治代表

18日(月) 11時37分

題して▽「地域完結型医療連携」

▽地域が一つの大きな病院のように▽遠軽厚生病院を取り巻く環境▽私たちの経験から地域の人々が取り組めることがらを30分ほど話した。

講演会は定刻を10分程オーバーしたが何とか役目を果たしたと思っている。

公演後、主催者側との懇親会に参加してホテルサンシャインに投宿し、翌日昼に北見に帰着した。

先月7月の天気は1日から7日まで連続の「雨」で、25日までに「雨」の日が15日あった。

29日(日)の第5回北見での思い出づくりの集いの天気心配で不安な日々が続く。

23日(月)、発表の長期予報で「晴れ時々曇り」と出る。これでもまだ安心出来ない。

当日朝、起きて部屋のカーテンを開けると晴れている。瞬間、これで成功70%と喜ぶ。

13日(金)夕方、第65回北見ほんちまつり舞踊パレードの写真撮影に。

北見赤十字病院の踊り手は吉田院長を先頭に楽しくパレードを熱く繰り広げている。その楽しさが見物の市民に伝わり、また一步、市民と病院との距離は縮まった。(逢坂)